

【ご参考資料】

2015年2月25日

2月24日のトルコの政策金利の引き下げについて

主要政策金利を7.75%から7.5%に引き下げ

2月24日、トルコ中央銀行は金融政策決定会合を開催し、主要政策金利である1週間物レポレート¹を7.75%から7.5%に、市場金利の下限となる翌日物借入金利を7.5%から7.25%に、市場金利の上限となる翌日物貸出金利を11.25%から10.75%に、それぞれ引き下げました。利下げの幅を巡っては見解が分かれていたものの、市場参加者の多くが利下げを予想していました。

同中銀は、前回1月の会合でも利下げを決定しましたが、政府当局者は利下げ幅が十分でない²と批判し、一段の利下げを求めています。

インフレ低下を背景に「慎重な」利下げを決定

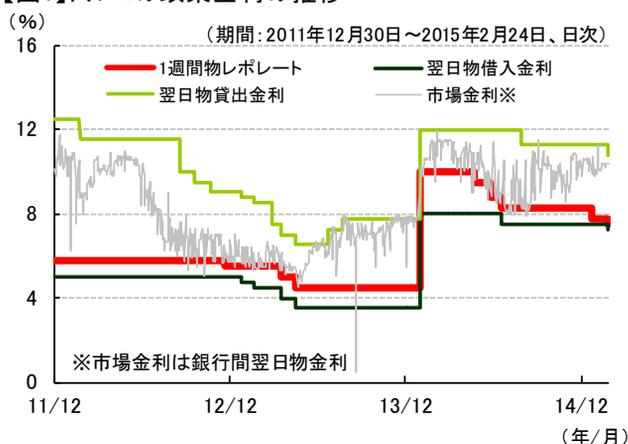
政府からの利下げ圧力が高まる中、同中銀はインフレ低下を背景に、2会合連続の利下げを決定しました。原油安などを背景に、1月のインフレ率は7.24%と、前月の8.17%から低下しました。声明では、エネルギーと食品を除くコア・インフレ率は低下を続けると予想する一方、より持続的なインフレ率低下には慎重な金融政策の姿勢が求められるとの見解を示しました。そのうえで、「食料と燃料価格の変動性が高い状態を考慮し、金融政策委員会は金利を慎重な規模で引き下げること³を決定した」と説明しています。しかし、ダウトオール首相はこの日の利下げについても、不十分との見解を示しており、今年6月に予定されている総選挙を控えて、追加利下げの圧力が高まる可能性があります。

2月24日のニューヨーク外国為替市場では、利下げが小幅にとどまったことなどから、対米ドルで前日比0.5%程度、対円で同0.6%程度のトルコリラ高となりました。

次回の金融政策決定会合は3月17日に開催される予定です。

以上

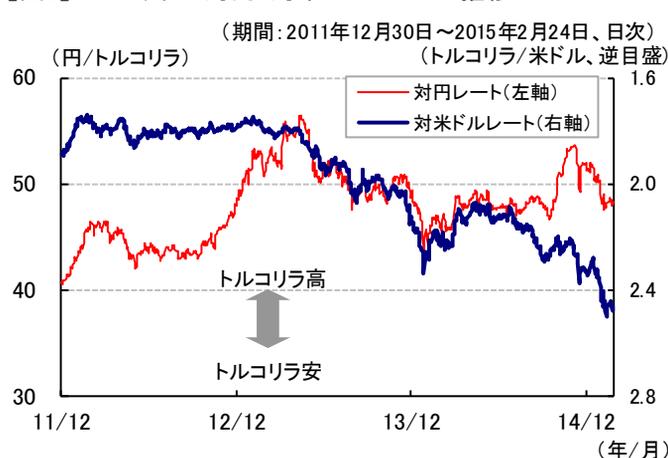
【図1】トルコの政策金利の推移



【図2】トルコの消費者物価指数(前年同月比)の推移



【図3】トルコリラの対円・対米ドルレートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成